

考察と今後の取組

—学習について—

☆4「家庭学習習慣」：家庭学習についての項目が前期よりも低くなっています。宿題は学校で学習した内容の定着を図るためだけでなく、家庭での学習習慣を身につけるためにも実施しています。10分×学年を目安に学習時間がもてることが望ましいといわれています。また、中学年以降は自ら課題を設定して学ぶ力もつけられるように自主学習にも取り組むことを進めています。テストに向けて間違えた問題に再挑戦したり、自分の興味のある分野を追究したりして自主学習に取り組めるようにご家庭でもお声掛けをお願いいたします。

—生活について—

☆9「相談」：多くの保護者の方が相談しやすいと回答してくださいました。保護者の方が、安心して相談できる学校だと思ってくださっていることを嬉しく思います。児童の回答は低下していますが、アンケート後に実施しております「先生と話そう週間」（担任と児童の個人面談）で聞き取りをしたところ、相談することがないとの回答がありました。日頃から、子どもたちは自分の思いを周りに伝えることができおり、改めて相談することはないと感じているのではないのでしょうか。今後も丁寧に対応し、いつでも話ができる関係作りをしていきたいと思います。また、気になることがありましたら、いつでもお話しいただき、皆様と共有していきたいと思っています。

☆11「生活習慣」12「安全意識」：どちらの項目も前期に比べ、高くなっています。子どもたちが規則正しい生活や安全に気をつけていこうという思いが高まっていることがわかります。日頃から、保護者の方の声掛けや地域の方の見守りがあるからこそです。自分たちで意識を高め、生活していく力をつけていってほしいと思っていますので、今後も温かく見守っていただけるとありがたいです。

☆13「行事参加」：今年度は新型コロナウイルス感染拡大以前に行われていた行事が、地域や保護者の方々のお力で復活してきています。以前に比べると縮小しているものもありますが、現状でできる工夫を考えて行われることが増えてきました。参加することで自分の住む地域を大切にしていこうという気持ちが育っていきます。また、学習にも生かされます。これまで同様に、可能な限り参加できるように学校でも積極的に声をかけていきます。

学校運営協議会委員の方からのご意見・ご感想

委員の方から

アンケート結果から、先生方が授業に対して様々な工夫をしてくださっていると感じました。GIGA 端末（児童一人一人のタブレット端末）の利用もすっかり慣れたように感じます。学習面では苦手な分野がより一層分かりやすくなって習得できることを願っています。放課後遊びが定着してきて、地域で遊ぶ回数は前よりも少なくなったかもしれませんが、楽しく過ごせていると思います。

全体的に問題はないと思われる。

保護者の間でも家庭学習や本の読み聞かせ等も熱心に取り組んでいると聞きます。保護者の問題意識も高く、良い結果が出ていると判断し、これからも継続を願います。

今年度は、これまで中止・縮小されていた地域行事が再開し、子ども達とともに参加する機会が戻ってきたことを嬉しく感じている。

学校から

新型コロナウイルスの感染拡大も落ち着き始め、社会生活が少しずつ以前に戻りつつあると同時に、これまでと形を変えた取組もいろいろ提案されてきました。GIGA 端末を活用した学習の充実を図り、社会の変化に対応できる力を子ども達につけていきたいと考えています。

知識や技能だけでなく、問題解決的な学習、対話を取り入れた学びを今後も大切にして、学校教育目標である「自ら学び共に未来を切り拓く子の育成」を進めていきます。保護者や学校運営協議会の皆様、地域の皆様からいただいたご意見をしっかりと受け止め、子どもたち一人一人に届く、丁寧な指導を今後も進めていきたいと思っています。

これからも皆様としっかり連携を図り、学校教育をより良いものにしていきます。今後とも、お力添えをお願いいたします

保護者の皆様・学校運営協議会委員の皆様、アンケートへのご協力、ありがとうございました。